

# すな お

令和5年5月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮 英治

発行日 2023.5.16 通巻 No.754



会 長

今月の4日で胸椎破裂骨折のケガをしてから無事に1周年を迎えることが出来ました。もう1年が経つのですが、昨日のことのような感覚で入院生活の日々を思い出すことが出来ます。寝たままで食べていた食事やコルセットを着けたままでの睡眠や排泄に困った日々、、、。そう思うと今日の1日1日がどれほど有難いことか。

神様は「1日経つ2日経つ、、、。1ヶ月もするとコロリと忘れてしまう」と仰せ下さっています。時に忘れる事は必要とも思いますが、こうした有難いことは忘れてはならないと思います。私はおかげで日々いろんな事をさせていただけるようになったので、「ありがたい!ありがたい!」と声に出しながら、させていただいています。本当にありがたいです。

そして、約3年間パンとジュースの配布後、解散という形式が続いていましたが、今月の月次祭より会館2階での直会を再開させていただきます。全てがコロナ前通りという訳ではありませんが、この期間に味わったことを生かして次なるステップアップしていきたいと思います。

ケガやコロナという事情などこうしたふしは大変ですが、ただ単に「大変だった～」で終わらせてしまうともったいないと思います。そこには神様からの大きなメッセージがあるのだから、乗り越えた後は大きな喜びになるように頑張りたいと思います。

また、先月より祭典中の地方、鳴り物の皆さんには椅子を使っていただくようになりました。これは葛城の会長さんからの御供です。これまたありがたいことです。足の痛みを心配することが無くなったのですから、より勇んでつとめさせていただきたいと思います。

## 【立教186年こどもおぢばがえりについて】

今年は4年ぶりの夏のこどもおぢばがえりの再開になります。先月26日にはこどもおぢばがえりの要項も発表され、実施に向かって進んでいます。教会としてもコロナ前とは違った形にはなりますが、再開をして準備を進めて行きたいと思っています。

以前はコスミックバンドの出演日を優先して日程を始め、プログラムを決めていましたが、これからはこどもおぢばがえりの行事参加を優先して日程やプログラムを決めて行きたいと思います。もちろん、この期間に合わせて大人の皆さんもおぢばがえりをしていただけたら尚結構かと思っています。

振り返れば50年ほど前、今の教会に移転し月々の少年会をして年に一度のこどもおぢばがえりに参加をしていました。その頃バンド出演はありませんでしたが、それはそれで楽しい思い出もありました。改めてもう一度仕切り直すチャンスを神様からいただけたように思います。今出来る動きを精一杯つとめたいと思います。

どうか、このチャンスに乗り遅れないよう子供、孫、親戚の子供達に声を掛け共々におぢばへ帰り教祖にお喜びいただきましょう。

## 新しい命



椿 信代

この度、私たち夫婦は新しい命を授かりました。今は安定期に入って体調も落ち着いており、秋には新しい家族が増えることがとても楽しみな毎日です。

子供を作ることに対しては私自身長い間葛藤がありました。様々な節を通して決心する機会を与えていただきました。また妊娠が分かってからは夫が持つ子育てに対しての不安について話し合いを重ね、時には会長さんにも話を聞いていただき前向きに進むことができます。今は本当に周りの方や家族に支えられて、喜びと感謝ばかりです。

ほんの数ヶ月前までは空っぽだったお腹の中で懸命に動く赤ちゃん。ひとつの命を産み育てるのはとてつもなくすごいことだと感じます。

来月には夫婦でをびや許しをいただきにおちばへ帰らせていただけることになりました。お腹の子が元気に生まれてきてくれるよう、日々不足のない心づかいで身体を穏やかに保ち過ごしていきたいと思います。

## 教会ニュース

### 大教会少年会おつとめまなび総会参加

3月27日に開催された中和団おつとめまなび総会に松浦雄人さん、矢野陽向さん、奏翔さんが参加しました。また、高校生ではありますが松浦美希さんが応援で参加されました。少しずつ以前の形に戻りつつあります。

### 4月月次祭記念写真について

先月大教会長さんと一緒に撮った写真の申し込みを受け付けます。以前のようにプリントした物も用意しますが、データで希望されます方は無料で転送致します。詳細は会長にお尋ね下さい。



## 編集後記

長いGW休暇が終わり、普段の日常が戻ってきました。新型コロナウイルスが5類に移行したこともあり、徐々にコロナ前の生活に戻りつつあります。会社に出勤する際、ほとんどの人がマスクをしています。これまで着用していたため、簡単に外せないようです。仕事でも、様々なイベントを再開し、秋には一般のお客様を招いた工場見学も予定されています。今後はウイズコロナの新しい生活の形が始まることを感じる今日この頃です。

(編集者K)